

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272701004		
法人名	有限会社 リブライズ		
事業所名	グループホームかっこの森		
所在地 (電話番号)	〒039-1212 青森県三戸郡階上町蒼前西二丁目9番地988 (電話) 0178-88-2595		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 12月 15日	評価確定日	平成 20年 2月 19日

【情報提供票より】(平成19年11月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 9月 15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	12人, 非常勤 2人, 常勤換算 13人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての 1階 ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	16,500 ~ 冬季19,500 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(11月 30日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	7 名	要介護2	1 名		
要介護3	5 名	要介護4	3 名		
要介護5	2 名	要支援2	名		
年齢	平均 78.8 歳	最低	64 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	美保野病院、みうらクリニック
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>アパートや下宿屋の多い新興住宅街の中で、地域に馴染みやすい環境にある。既存の下宿屋を改造したというホーム内は、木目調で統一されておりまた、畳の部屋もあり、落ち着いた雰囲気を整えられている。季節感を取り入れた装飾や、献立等はユニット毎に取り組みされており、入居者の言葉を大切にしていることがうかがわれる。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>基本理念にそって、職員全体で処遇目標をたてて、取り組んでいる。入居者の情報共有に関しては、申し送り会議で全員に伝達し、確認をしている。マニュアル作成については、資料を集めて準備している段階であり、早急の取り組みを期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>ユニット毎に掲示し、家族、職員で確認をしながら、できることから取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>事故報告、外部評価、事業計画等について報告をし、施設のなかだけでは見えてこない意見をとりいれながら話し合いをしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>クレームポストを玄関に設置し苦情受付者も明示している。対応としては、各担当職員と家族、管理者で話し合い、会議で報告し協議している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩時に挨拶したり、近所の方が子供を連れて立ち寄りたり、お話会のボランティアと交流したり、地域との連携が日常的に行われている。地域活動として、ゴミ拾いや草取りなども実施している。また担当職員はキャラバンメイトとして、地域のなかで活動している。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「入居者ひとりひとりの尊厳を大切にします」という理念に基づき、ユニットごとに処遇目標をつくり、スタッフルームに掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営方針や目標を、年度始め、入社時、会議の際に確認している。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩時の挨拶や声かけ、近所の方が子供を連れて立ち寄る、お話会のボランティアとの交流等のおつきあいができている。地域活動としてのゴミ拾いや草取りも実施している。担当職員は地域のキャラバンメイトとして活動している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>全職員で意義を理解し、具体的な改善につなげるために全体会議時に説明したり、自己評価票を掲示し、改善できることから取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等の報告をし、施設のなかだけでは見えてこない意見を取り入れながら話し合いをしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実際等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議でしか機会がとれていない。</p>	○	<p>地域密着型サービスを適正に運営していくため、市町村の理解や支援が必要です。今後の積極的な取り組みに期待します。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会に参加し、資料を回覧して理解を深める努力をしている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設内での虐待を防止するために、職員のストレスについて注意をはらい、介護ストレスについて話し合いをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書に記載しており、入居時に丁寧に説明し、理解・納得に努めている。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時は必ず話し合うようにしている。また面会の少ない家族へは、電話や郵送で個々にあわせた報告ができています。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	クレームポストを玄関に設置し、苦情受付者も明示しており、意見等を受けた場合はその都度、管理者、各担当職員、家族で話し合いをしている。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者と職員が一緒に過ごす時間を大切に、安心感が継続できるように配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内研修は年間計画を立てて実施している。また外部研修や資格を取得する機会を推進している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区の合同親睦会に参加している。勉強会への参加を検討しており、ネットワークづくりへの意欲がみられた。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と相談しながら、場の雰囲気馴染めるよう、職員や他の利用者との相性等を考え、環境作りをしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	喜怒哀楽をともに支えあう生活を意識して支援している。できることは、していただき、利用者から学んだことは全員で共有し支えあう関係づくりに努力している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや希望に重点をおき、把握に努めている。困難な場合は、選択肢を提案し把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	定期的に、利用者・家族より要望を聞き取り、アセスメントをし、ケアプランを作成している。入居時は家族の意向の比重がおおきいが、生活する中で本人の意向にそってつくられている。		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3ヶ月に1回、定期的に見直しをし作成しているが、それ以外に改善が必要な場合は、その都度見直し作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	利用者・家族の要望に応じて、柔軟な支援ができるようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望を大切に、かかりつけ医を受診できるように支援している。また夜間も連絡がとれる体制ができている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合については、家族等と話し合っているが、終末期のあり方においては、施設の方針ができていない。		方針を定め、全職員で共有できるような取り組みを期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人に寄り添うようにして、さりげなくトイレ誘導しており、本人を傷つけない努力がうかがわれた。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩や歩行練習等、一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。		支援が十分にできていないのではないかとこの反省は、よりよいケアをめざす意気込みを感じました。全職員での取り組みを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を決めることから利用者と職員が協働できており、一人ひとりのできることが活かされていた。同じテーブルを囲んで味付けについてや季節の野菜について等、会話がはずみ楽しく食事できるような配慮がみられた。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴の準備はしており、好きな曜日に入浴できるよう支援している。安眠効果を考慮し、入眠前の入浴を検討しており、試行されていた。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意な分野で力を発揮できるように、ケアプランに取り入れて支援している。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	好きな時に外出できるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員で身体拘束に関しての理解ができており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員間で利用者の所在や様子を確認しあい、安全・安心に配慮し、日中は鍵を掛けない支援ができています。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練を実施し、地域の人々への協力を働きかけている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の好みのものを美味しく食べてもらう支援ができています。カロリー、栄養バランス、水分量の把握においては、専門の知識が不十分である。		栄養についての専門的なアドバイスが受けられるような、取り組みを期待します。
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対する情報を収集し、職員会議で周知徹底し、早期発見・早期対応に努めている。また手洗いがい・消毒を習慣化して予防に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間では、職員もゆっくりおだやかに話しかけており、テレビの音量も調節して、安心して生活出来るよう配慮されている。季節感を取り入れての飾りつけも、配色等で落ち着いた雰囲気作りの工夫がみられる。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>鏡・コタツ・タンス等使い慣れた生活用品を持参しており、その人らしく安心して生活している様子がかがわれる。</p>		

 は、重点項目。